

## 防府市青少年育成センター運営協議会 会議要旨

日時：令和8年5月22日（金）午後3時から午後4時30分まで

場所：防府市役所 本館2階 共用会議室

出席委員：江山会長（教育長）、池永委員、石井委員、松野下委員

楫間委員、島田委員、黒坂委員、矢根委員、重枝委員

欠席委員：藤村委員、山崎委員

### 【次第】

- 1 委嘱状交付
- 2 会長あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 協議事項

#### （1）青少年の現状について

##### ①防府警察署

##### ○犯罪情勢、補導状況報告（令和7年中）

- ・刑法犯認知件数：366件（前年比9件減）

本年（令和8年）4月末現在の刑法犯認知件数：140件（前年比31件増）

- ・刑法犯検挙、補導人数：61人（前年比35人増）

有職少年：20人、小学生以下（19人）、高校生（12人）、中学生（6人）、無職少年（4人）

（特徴）小学生以下が一昨年の4倍近くに増加、県内でも最多。

- ・刑法犯少年罪種別人数：窃盗犯（27人）、粗暴犯（14人）

初発型非行：20人【万引き（12人）、自転車窃盗（3人）、オートバイ（1人）、その他（4人）】

- ・本年（令和8年）4月末現在の刑法犯特別法犯による検挙・補導人数：34人（前年比20人増）

- ・不良行為少年の補導人数：134人（前年比21人増）

昨年同様、深夜はいかい（47人）、喫煙（32人）、粗暴行為（11人）で補導される少年が多い。

本年（令和8年）4月末現在の不良行為少年の補導人数：48人（前年比26人増）

深夜はいかい（19人）、喫煙（13人）、粗暴行為（5人）

##### ○こどもの安全確保の観点のお願い等

- ・日常生活をしながらの「ながら見守り」をお願いしたい（ウォーキング、ジョギング等）。

- ・地域の方々にもご協力していただき、より多くの大人の目で子ども達を見守りたい。

・うそ電話詐欺やSNSを利用した詐欺の被害防止、オンラインカジノ・闇バイト等の犯罪への加担防止に努める。

- ・青少年の健全育成は、警察だけでは成し得ないので、引き続き皆様方と連携して活動していく。

(会長) 御質問、御意見等があればお願いしたい。

(A委員) 4月に入って、青少年の犯罪数がかなり増えているのでしょうか。

(警察署) 検挙・補導が増えている。

## ②山口県中央児童相談所

○相談受理状況報告(令和7年度) ※防府市、山口市、美祢市の3市合計の件数

・相談受付件数(総計): 1, 349件

内訳: 養護相談(501件)、障害相談(667件)、非行相談(50件) 育成相談(90件)  
その他(41件)

・相談受付件数: 防府市(510件)

・児童虐待相談件数(153件)、虐待通告件数(329件)

・相談経路: 本人・家族等(10件)、市町村(29件)、学校等(36件)、警察(60件)  
その他(18件)

・相談を受けて、施設入所につないだのは全体の1割程度(12件)。

・インターネットを通じたトラブルが増えているので、各機関の皆様からのご指導等をお願いしたい。

(会長) 御質問、御意見等があればお願いしたい。

・質問なし

## ③防府市青少年育成センター

○街頭補導活動報告(令和7年度)

・実施回数: 397回、参加延べ人数: 1, 448名

・補導人数: 48名(遊技場出入り29名、喫煙4名、交通違反15名)

・小・中学生の遊技場出入りは、保護者同伴であることとなっている。保護者の姿が見えない子ども達に声掛けをしている。

・交通違反のほとんどが、高校生による「歩きスマホ」である。

○「ヤングテレホン防府」相談受理状況(令和7年度)

・相談件数: 79件

・相談件数はコロナ禍以降、減少傾向にある。SNS等の普及により、相談件数が減少していると推測している。

(会長) 御質問、御意見等があればお願いしたい。

(A委員) 今年の4月から自転車のルール法の整備がされたため、交通に関する指導が増えるか。

(事務局) 指導件数が増える可能性はある。

(2) 令和7年度防府市青少年育成センター活動実施状況について

①青少年の非行防止と早期発見

- ・街頭巡視活動（常時巡視、地区巡視、合同巡視）を実施。  
合同巡視は、主に毎月第3金曜日に計12回実施。
- ・ヤングテレホン防府による電話相談や来所相談

②広報・啓発活動

- ・市広報、防府市青少年育成市民会議の広報紙「はばたき」で広報活動を実施。
- ・育成センターだより発行（月2回）
- ・第16回「社会を明るくする運動」「青少年の被害・非行防止運動」スピーチコンテストを開催  
日時：令和7年7月26日（土）  
場所：防府市創業・交流センター（デザインプラザHOFU）

③環境浄化活動

- ・こども環境クリーンアップ活動を実施。  
日時：令和7年7月3日（木）  
内容：各書店等の有害図書類の区分陳列のチェック。  
携帯電話端末等販売店、深夜営業施設への立入調査。

④諸会議等の開催及び出席

- ・資料記載のとおり、諸会議等を開催、出席。

(会長) 御質問、御意見等があればお願いしたい。

- ・質問なし

(3) 令和8年度防府市青少年育成センター活動計画（案）について

①非行防止と早期発見活動

- ・街頭巡視活動（常時巡視、地区巡視、合同巡視）を実施。
- ・相談活動（ヤングテレホン防府の電話相談、センター指導員による来所相談）の実施。
- ・地区補導員と連携（各地区と連携した巡視活動）。

②広報・啓発活動

- ・市広報、市民会議広報紙「はばたき」、育成センターだよりを活用した広報活動を実施。
- ・強調月間（7月）中の各種行事等への参加及び啓発活動を実施。

③環境浄化活動

- ・7月にこども環境クリーンアップ活動を実施。

④諸会議等の開催及び出席

- ・各種会議の順次開催及び研修会等への出席を通じて、青少年の健全育成に努める。

(会長) 御質問、御意見等があればお願いしたい。

- ・質問なし

計画(案)は承認された。

(4) 情報交換

(A委員) 防府市は朝にみまもり隊が活動しているが、それに加えて、ながら見守りを実施したら良いか。

(警察署) 可能な範囲でながら見守りをお願いしたい。

(B委員) 登下校時の交通事故が危惧されている。地域の方々にもご協力いただいて、見守り活動を実施している。SNS等が原因の非行が見受けられるので、引き続き関係機関と連携していきたい。

(C委員) SNS等の個別事案が気になる。青少年が関わっている事件もインターネット上で進み、明るみになった際には、とても大きなものになっている。不登校の生徒も増えているのが気になる。小・中学校で連携し、早期に青少年の問題発掘をすべきである。

(D委員) スマートフォン等の利用が気になる。青少年の方が大人よりインターネットに詳しくだったので、対策をするのも難しい。

(E委員) まずは家庭の在り方が大切だと思う。インターネット端末を与える、使い方を教えるのも保護者なので、大人に責任がある。下校時間が学年によって異なる中、こども達の下校を見守っているみまわり隊の方々の存在は大きい。

(F委員) 地域との連携が思うように進まない。継続して、連携できるよう働きかけたい。

(G委員) 大人がルールを守っていない印象がある。大人の歩きスマホが多い。まずは大人が青少年の見本となるような行動をしなければならない。